

鉄道・バス路線



高速・一般道



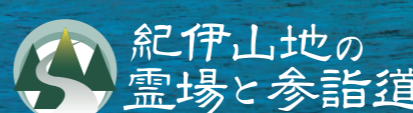
- 京阪神方面から**
- 阪和自動車道・湯浅御坊道路→南紀田辺IC・紀勢自動車道すさみ南ICからR42を海岸沿いに南下、串本経由で那智勝浦新宮道路・新宮に至る。もしくは紀勢自動車道上富田ICからR42、R311を経由し、R168を南下。
 - 西名阪自動車道からR24・R168を南下。
- 東京・名古屋方面から**
- 伊勢湾岸自動車道から四日市JCTを経由して東名阪・伊勢・紀勢自動車道 紀伊長島IC→熊野尾鷲道路・熊野大泊ICからR42を南下、新宮に至る。
- 奈良方面から**
- R168を南下して新宮に至る。
- 京阪神方面から**
- 京都・新大阪駅からJRきのくに線「特急くろしお」で新宮駅下車。
- 名古屋方面から**
- 名古屋駅からJR紀勢本線「特急南紀」で新宮駅下車。
- 東京方面から**
- 大宮・池袋・新宿・横浜から西武バス・三重交通高速バスにて新宮。
- 名古屋方面から**
- 名古屋・名鉄バスセンターから三重交通高速バスにて新宮。
- 奈良方面から**
- 大和八木から奈良交通定期路線バスにて新宮。

《観光のお問い合わせ》
新宮市観光協会
 〒647-0020 和歌山県新宮市徐福2-1-11
 TEL.0735-22-2840 URL <http://www.shinguu.jp/>

新宮市商工観光課
 〒647-8555 和歌山県新宮市春日1-1
 TEL.0735-23-3333 URL <http://www.city.shingu.lg.jp>

世界遺産のまち
熊野新宮

観光ガイドブック



和歌山県新宮市

写真：熊野川

「祈り」が受け継がれる聖地 世界遺産のまち新宮

古くから人々の、そして時代の「祈り」を受け継いできた新宮市の神社。身分を問わず多くの人々の信仰を受け入れ、平安時代には「蟻の熊野詣」とも称されるほど大勢が列をなしてこの地に参詣しました。平成16(2004)年、「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコ世界遺産に登録。今もなお、国内外から多くの人々が訪れて祈りを繋いでいます。

くまのはやたまたいしゃ 熊野速玉大社 Kumano Hayatama Taisha Grand Shrine

世界遺産

美しい朱色の社殿が映える熊野速玉大社。本宮・那智と並ぶ「熊野三山」の一社で、本宮から川の参詣道・熊野川を下ってたどり着く参詣道の目的地のひとつ。熊野速玉大神(イザナギノミコト)、熊野夫須美大神(イザナミノミコト)の夫婦神を中心に十二柱の神々を祀り、信仰を集めています。参道沿いにそびえる榎(なぎ)の大樹は、平重盛お手植えと伝わりご神木。「風」に通じることから道中安全に、また葉脈が縦にあり裂けないことから夫婦合にご利益があるとされています。毎年10月15・16日には例大祭(国指定重要無形民俗文化財)を斎行。10月15日には神馬渡御式が、16日には神輿が街中を練り歩き、熊野川で神霊を宿す神幸船を9隻の早船が先を競って先導する「御船(みふね)祭」が執り行われ、新宮に活気があふれます。

☎0735-22-2533
新宮市新宮1

MAP.E-5 MAP.H-3



公式サイト

霊符「榎の葉」



熊野速玉大社
公式facebook



熊野速玉大社公式facebookをフォローして社務所に申し出ると、参拝の記念として榎の葉をお分けしてもらえます。



1 神倉山に降臨した神が現在の場所に初めてお宮を立て遷座したことから「新宮」の地名の由来とも言われています 2 榎の大樹は1000年近くもこの地を見守ってきたご神木 3 境内の熊野神宝館では国宝・古神宝類を所蔵・公開。重要文化財の神輿や神幸船も展示されており、必見です 4 5 10月15・16日の例大祭では神輿や神馬渡御、早船競漕など見応えある神事が盛りだくさんに行われます



かみくらじんじゃ 神倉神社 Kamikura-jinja Shrine

世界遺産 ジオパーク

Kamikura-jinja Shrine

迫り来るような急勾配の石段に圧倒される古社。538段の石段の先にはご神体の巨岩・ゴトビキ岩が鎮座しています。ここは熊野三山の神が最初に降臨したと言われる聖地。高倉下命(タカクラジノミコト)を祀っています。2月6日は神倉神社で新宮に春を呼ぶ「御燈(おとう)祭り」が行われます(国指定重要無形民俗文化財)。白装束に荒縄姿の上り子が松明を手に山頂付近まで上り、ご神火をいただいて石段を下りる勇壮な光景で、新宮節に「山は火の滝、下り竜」と歌われています。

☎0735-22-2533(熊野速玉大社)
新宮市新宮1-13-8

MAP.E-5 MAP.J-3

1 ご神体「ゴトビキ岩」に抱かれる山腹の社。「ゴトビキ」とはヒキガエルを意味する熊野地方の方言です 2 参道の石段は源頼朝が寄進したと伝わる歴史香るもの 3 ご神火をつけた松明が参道を駆け下りる「御燈祭り」 4 上りきった先には新宮の街を一望にできる絶景ビューが!

あすかじんじゃ 阿須賀神社 Asuka-jinja Shrine

世界遺産 ジオパーク

Asuka-jinja Shrine

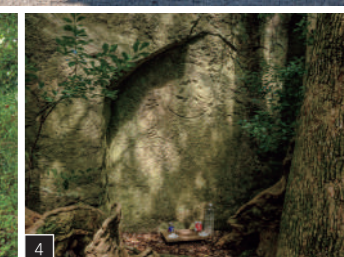
境内から弥生～古墳時代の祭祀遺物が発見されており、古くから祈りの場であったと考えられています。熊野速玉大社との関連も深く、平安時代以降、熊野詣の人々で賑わいました。その人々が奉納した御正体(みしょうたい)が多数伝わり、隣接の歴史民俗資料館(P.10)に展示されています。境内には秦の始皇帝の命でこの地にたどり着いたと伝わる徐福を祀る宮や、不老不死の妙薬とされる天台烏薬(テンダイウヤク)の木があります。

☎0735-22-3986
新宮市阿須賀1-2-25

MAP.E-6 MAP.I-4



公式サイト



1 ご神体の蓬莱山に抱かれるように建つ社殿 2 お椀を伏せたような形の蓬莱山 3 徐福の宮(写真)や子安の社、阿須賀稻荷神社の摂末社も境内に 4 近くの社有地にある宮井戸遺跡。弥生～古墳時代の土器が出土しているほか、岩に不動明王と虚空蔵菩薩の梵字が彫られ、信仰されています

聖地を目指す参詣道「熊野古道」

熊野三山への参詣のため、1000年以上もの昔から多くの人々がたどってきた「熊野古道」。いくつかのルートが設けられています。2004(平成16)年7月にユネスコ世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の構成資産として登録。今や国内外から大勢の人々が訪れています。

熊野古道

大辺路、中辺路、小辺路、伊勢路、紀伊路の主な5つのルートが熊野三山(熊野速玉大社、熊野本宮大社、熊野那智大社・那智山青岸渡寺)へと導く熊野古道。平安～鎌倉時代には上皇など貴人も熊野詣を頻りに行ったほか、室町～江戸時代にかけては広く庶民も巡礼に勤しましました。その人気ぶりは、参詣の行列が「蟻の熊野詣」と称されるほど。現在、紀伊路を除く道の一部が世界遺産に登録されています。そのうち、新宮市を通るのが中辺路と伊勢路。吉野と熊野を結ぶ大峯奥駈道も世界遺産に登録されています。特に熊野川という川の参詣道がある新宮市は、海・山・川と異なる自然環境を感じながら熊野古道を体験できるのが魅力です。



海の参詣道



こうやざか
高野坂(熊野古道中辺路)
Koya-zaka Slope
熊野速玉大社と熊野那智大社を繋ぐ中辺路ルートの一部で、傍らに海を感じられる熊野古道。美しい景観の御手洗海岸や苔むした石畳の道、日本遺産「鯨とともに生きる」の構成遺産(P.10)など、約1.5kmの気軽な道のりに数々の魅力が詰まっています。

高野坂散策モデルコース: 累計約3時間30分 [MAP.K~M-1]

JR新宮駅	徒歩約20分
神倉神社	徒歩約15分
熊野速玉大社	徒歩約20分
阿須賀神社	徒歩約25分
王子神社(浜王子)	徒歩約30分
高野坂(登り口)	徒歩約40分
三輪崎駅前バス停	(バス約20分) 徒歩約60分
JR新宮駅	徒歩約20分

川の参詣道



くまのがわ
熊野川(熊野古道中辺路)
Kumano-gawa River
熊野本宮大社から熊野速玉大社を目指す際、交通手段のひとつとして利用されていた熊野川の舟運。現在、唯一の「川の参詣道」として世界遺産に登録されています。現在も、自然の中で歴史に思いを馳せながら川舟下りを楽しむことができます(P.8)。

熊野川川舟下り: 累計約2時間

JR新宮駅	バス約30分
道の駅熊野川バス停	徒歩約1分
出発・熊野川川舟センター	川舟約1時間30分
到着・権現河原	徒歩約1分

山の参詣道



おおぐもとりごえ・こぐもとりごえ
大雲取越・小雲取越(熊野古道中辺路)
Ogumotori-goe Section・Kogumotori-goe Section
熊野那智大社と熊野本宮大社を結ぶ「大雲取越」と「小雲取越」。どちらも険しい山道を長距離歩くため、体力や装備など準備は万全に。道中には茶屋跡・石仏があり、世界遺産・熊野らしさを随所に感じられます。 [MAP.D~F-2・3]

大雲取越・小雲取越のモデルコース
JR那智駅～熊野本宮大社間 累計約11時間

JR那智駅	バス約30分	那智山青岸渡寺	徒歩約30分	那智高原	徒歩約1時間15分	舟見茶屋跡	徒歩約1時間10分	地藏茶屋跡	徒歩約55分	越前峠	徒歩約50分	楠の久保旅籠跡	徒歩約15分	中根の旅籠跡	徒歩約15分	円座石	徒歩約20分	小口自然の家(1泊)	徒歩約1時間25分	桜茶屋跡	徒歩約1時間	賽の河原地蔵	徒歩約15分	百間くら	徒歩約30分	松畑茶屋跡	徒歩約1時間5分	請川バス停	徒歩約50分	熊野本宮大社
-------	--------	---------	--------	------	-----------	-------	-----------	-------	--------	-----	--------	---------	--------	--------	--------	-----	--------	------------	-----------	------	--------	--------	--------	------	--------	-------	----------	-------	--------	--------

大雲取越 ←→ 小雲取越



おおみねおくがけみち
大峯奥駈道
Omine Okugakemichi Route
奈良県の吉野から和歌山県の熊野に至る大峯奥駈道。修験道の修行のための道で、一部が新宮市境を通過しています。標高825mの五大尊岳北峰の頂上には、修験者の行場「靡(なびき)」の第7番があります。 [MAP.A~C-1・2]

大峯奥駈道のモデルコース: 累計約7時間50分

田辺市	熊野本宮大社	徒歩約2時間
新宮市	山在峠	徒歩約1時間15分
大黒天神岳	徒歩約30分	
六道ノ辻	徒歩約1時間35分	
五大尊岳	徒歩約2時間30分	
奈良県 十津川村	玉置神社	徒歩約2時間30分

熊野古道を深掘りしよう!



1 熊野古道に沿って各地に点在する熊野九十九王子のひとつ「浜王子」
2 那智勝浦町との境近く、国道42号沿いに立つ「佐野王子」の碑
3 熊野古道には道路の埋め込み標識や立て看板など、ルート上に細やかな案内があるから安心
4 高野坂に替わって新しい道ができた時の記念碑「新道道標」

豊かな「自然」が彩るまち

新宮市出身の文豪・佐藤春夫が『望郷五月歌』に「空青し山青し海青し」と故郷を謳(うた)ったとおり、ここには心癒される雄大な自然があります。川、滝、海、山、里。魂まで洗われるような大自然に包まれて、心と体のリフレッシュを新宮市でしませんか。

どろきょう

澗峡

Doro-kyo Gorge

国指定文化財 ジオパーク

熊野川支流の清流・北山川に沿って展開する大渓谷。和歌山・三重・奈良の三県境を縫うように流れ、その景勝は200年ほど前から知られていました。その一部は「澗八丁」と呼ばれ、国の特別名勝・天然記念物に指定されています。かつて、上流の北山村から木材を筏(いかだ)に組んで熊野川河口の新宮市へと運搬した川のルートで、今も昔も変わらぬ風光明媚な景色が出迎えてくれます。イワチドリやシャクナゲ、サツキ、キイジョウロウホトトギスなど季節の花や気まぐれに現れる動物たちも見どころ。屏風岩やとさか岩、獅子岩、こま犬岩などダイナミックな奇岩・巨岩が立ち並びます。船頭さんの案内で、玉置口から川舟クルーズを楽しむことができます(P.8)。

MAP.A-3-4



くわのきのたき

桑ノ木の滝

Kuwanoki Falls

ジオパーク

相賀バス停から徒歩約15分、ハイキング気分が気軽に楽しめる優雅な滝。落差21mのこの滝は「日本の滝百選」にも選ばれた名瀑で、かつては周りに桑の木が生えていたことから名付けられたそうです。

MAP.E-4



くろしこうえん

黒潮公園

Kuroshio Park

遊具や噴水、遊歩道、万葉歌碑などが並び、散歩にぴったり。サクラやフジ、ツツジといった花々や、落ち葉、ドングリなど四季を通して楽しめます。

MAP.O-P-2-3



はなじろのたき

鼻白の滝

Hanaziro Falls

熊野川の支流を落ちる上段45m、下段38mの2段に分かれた滝。林道田長谷線を那智勝浦町方面に少し進んだところに展望台があり、優雅な姿を眺めることができます。

MAP.D-3



おうじがはま

王子ヶ浜

Ojigahama Coast

ジオパーク

太平洋に臨む約4kmの海岸。アカウミガメの産卵地でもあります。南側の岩山の磯は御手洗(みたらい)海岸と称され、禊(みそぎ)の場所とされています。

MAP.J~M-4~6



くしま・すずしま

孔島・鈴島

Kushima Island・Suzushima Island

ジオパーク

三輪崎漁港から歩いて行ける島で、奇岩や怪石、市天然記念物指定の暖地性の多彩な植物群落が見られます。特に孔島では新宮市花であるハマユウが群生。夏に白い花を咲かせます。両島は磯遊びやハイキングも楽しめる行楽スポットとして地元で人気。吉野熊野国立公園の一部で、南紀熊野ジオパークにも登録されています。

MAP.O-P-4

1 三輪崎漁港から見える孔島の厳島神社 2 連なる朱色の鳥居が美しい厳島神社の境内には、日本遺産「鯨とともに生きる」の構成文化財(P.10)も点在 3 奇岩が織りなす両島は磯遊びやバードウォッチングの好適地(写真はともに鈴島)



うきじまのもり

浮島の森

Ukijima-no-Mori Island

国指定文化財 ジオパーク

街中にぽっかりと現れる小さな森、実は島全体が沼に浮いています。シダ類や水生植物のほか、北方系と亜熱帯系の植物が混生する非常に珍しいスポット。国の天然記念物に指定されています。

MAP.I-4



たかたしぜんぶーる

高田自然プール(第1・第2)

Takata Outdoor Swimming Pool (The 1st & The 2nd)

毎年7月中旬~8月末にオープンする、高田川の清流をそのまま利用した自然のプールです。その透明度は抜群! 駐車場や更衣室、トイレがあり安心して家族で楽しめます。

MAP.E-4



南紀熊野ジオパーク

後世に守り伝えていきたい地質遺産を持つ地域が「ジオパーク」。2014(平成26)年に南紀熊野ジオパークが日本ジオパークとして認定、現在は新宮市を含む紀伊半島南部の10市町村にジオサイトが登録されています。新宮市には、大地の営みを感じられる26のジオサイトがあります。

新宮市のジオサイト

- 新宮城跡
- 浮島の森
- 神倉山のゴトビキ岩
- 高野坂
- 王子ヶ浜
- 蓬萊山
- 孔島・鈴島
- 桑ノ木の滝
- 熊野川九里峡
- 相須神丸の高倉神社跡
- 谷口の石炭層

- 小雲取越
- 万才峠道
- 志古の磐座
- 志古の貝持嶋
- 棕呂の火成岩
- 篠尾川渓谷
- 篠尾の不整合
- 嶋津の筏師の道
- 澗八丁
- 大雲取越
- 円座石

- 一遍上人名号碑 附 磨崖名号碑
- 御所本のカレントリップル
- 和田川峡
- 田長の猪岩



南紀熊野ジオパーク公式サイト



五感で楽しむ「新宮体験」

自然や歴史、文化など、新宮市に来たからこそ、その魅力を存分に味わうことができる多彩なアクティビティ。五感をフルに活用して、全身全霊で新宮を満喫できる体験を紹介します。

こぐちしぜんのかい・きゃんぷじょう 小口自然の家・キャンプ場

Koguchi Shizen-no-ie Lodging・Campground
宿泊施設やテントサイト、バーベキュー場を利用できます。熊野古道の大雲取越・小雲取越(P.4)の登り口にも近く、巡礼の拠点としても便利です。

ご予約・お問い合わせ
☎0735-45-2434
新宮市熊野川町上長井398

MAP.D-2



公式サイト

癒しの天然温泉



ただぐりーんらんど・くもとろんせん

高田グリーンランド・雲取温泉

Takada Greenland(Kumotori Onsen)

ゲルマニウムを含む温泉で、露天風呂では川のせせらぎや鳥の声を聞きながら淡い乳白色の湯を堪能できます。内風呂の天台鳥葉(テナダイウヤク)風呂も好評。日帰り入浴のほか、宿泊も可。

ご予約・お問い合わせ
☎0735-29-0321

新宮市高田1810 MAP.E-4



公式サイト



くまのがわおんせん さつき

熊野川温泉 さつき

Kumano-gawa Onsen Satsuki

奥熊野の深緑の山々を眺めながら、開放感あふれる露天風呂を楽しめる温泉施設。アルカリ性単純泉で、神経痛、筋肉痛、慢性消化器病などに効能があるとされています。休憩スペースもゆったり。

ご予約・お問い合わせ
☎0735-44-0193

新宮市熊野川町日足707 MAP.C-3 MAP.D-4



公式facebook

新宮を「味わう」

海、山、川の自然に恵まれた新宮市は城下町としても栄え、新鮮素材と歴史が育んできた美味しい食べ物がいっぱい。新宮伝統の味をぜひ味わってみてください。



めはり寿司
Mehari-Zushi



さんま寿司
Sanma-Zushi



なれ寿司
Nare-Zushi



茶粥
Chagayu



さんまの丸干し
Sanma-no-Maruboshi



熊野牛
Kumano Beef



和菓子
Japanese Sweets



海鮮
Seafood



熊野の地酒
Local Kumano Sake



新宮市観光協会
パンフレットPDF



新宮うまいもんマップ



新宮夜遊びマップ



くまのがわふなぐたり 熊野川舟下り

Kumano River Boat Tour

「道の駅 湍峡街道熊野川」にある熊野川川舟センターを出発し、熊野速玉大社(P.1)そばの河原まで約90分の川舟下りの参詣旅を体験。船頭さんやガイドさんの案内や篠笛を聞きながら、昔ながらの川の参詣道をゆったり満喫することができます。川舟センターまで帰りのバスがあるので、車で来た人も安心です。

ご予約・お問い合わせ
熊野川川舟センター
☎0735-44-0987
新宮市熊野川町田長54-8

MAP.D-4



公式サイト

どろきょうめぐりかわぶねくるーず 湍峡めぐり 川舟クルーズ

Dorokyo Meguri Kawabune Cruise

和歌山・三重・奈良の三県境にまたがる名勝・湍峡(P.5)を風情たっぷりの川舟でクルーズ。奇岩・巨岩や珍しい動植物を眺めながら、約40分の川の遊覧を楽しむことができます。川の流れがゆるやかなことを意味する「湍」の名のとおり、揺れが少なく船が苦手な人も安心して身を任せることができます。



ご予約・お問い合わせ
熊野川川舟センター(湍峡めぐり乗船場)
☎0735-44-0987
新宮市熊野川町玉置口8-1

MAP.B-3



公式サイト



くまのまんだらえとき

熊野曼茶羅絵解き

Kumano Mandala Pictorial Guide

戦国〜江戸時代に熊野信仰の布教と勧進のために全国を巡り歩いた熊野比丘尼(びくに)に扮した新宮市観光協会登録ガイドさんが「熊野観心十界図」「新宮参詣曼茶羅」を名調子で解説。川原家横丁(P.10)と神倉神社(P.2)で定期的に開催しているほか、事前予約で出張絵解きもしてくれます。

ご予約・お問い合わせ
新宮市観光協会
☎0735-22-2840
新宮市船町1-2-1(川原家横丁)
新宮市神倉1-13-8(神倉神社)



新宮市観光協会

MAP.H-3

市内散策に便利 レンタサイクル E-バイク

貸し出しは下記施設で!

●新宮市観光協会 Shingu City Tourist Association	☎0735-22-2840 新宮市徐福2-1-11	MAP.I-4
●徐福公園 Jofuku Park	☎0735-21-7672 新宮市徐福1-4-24	MAP.I-4
●高田グリーンランド Takada Greenland	☎0735-29-0321 新宮市高田1810	MAP.E-4



新宮歳時記

1月下旬

●神倉神社ゴトビキ岩しめ縄張替え

2月6日

●御燈祭り(神倉神社にて)

新宮に春を呼ぶ、神倉神社(P.2)の祭り。白装束の上り子が神倉山から一斉に駆け下ります。国指定重要無形民俗文化財。



御燈祭り

3月中旬

●桜開花

●新宮城跡夜桜ライトアップ開始(〜4月下旬)

4月下旬

●ツツジ見ごろ(黒潮公園にて)

●鯉のぼり泳ぎ始め(新宮市熊野川町にて、〜5月上旬)



ツツジ



鯉のぼり

5月中旬

●紫陽花見ごろ

(黒潮公園・渡御前社にて)

●藤見ごろ(黒潮公園にて)

6月上旬

●川さつき見ごろ(新宮市熊野川町 湍峡)

7月上旬

●海開き

7月14日

●扇立祭(熊野速玉大社にて)

7月15日

●高田自然プール開き(〜8/31)

7月下旬

●ハマユウ見ごろ(孔島・鈴島にて)



ハマユウ

8月12・13日

●熊野徐福万燈祭

8月中旬

●小口夏祭り 五穀豊穡を願い、火のついた松明を御柱の籠へ投げ入れる、佐野地区の祭りです。※雨天時は延期

8月16日

●佐野柱松



佐野柱松

8月下旬

●ひまわり見ごろ(新宮市熊野川町にて、〜9月上旬)

9月中旬

●三輪崎八幡神社例大祭

●潮風祭り

(新宮市三輪崎にて)

10月中旬

●新宮秋まつり

10月15・16日

●熊野速玉大社例大祭



御船祭

熊野速玉大社例大祭は別名・御船祭。御船島の周りを早船が競漕します。国指定重要無形民俗文化財。

11月中旬

●イチョウ色づく(新宮市熊野川町 泉蔵寺)

●紅葉色づく(湍峡)

12月上旬

●タウンガーデンイルミネーション(〜1月上旬)

12月下旬

●小口おもしろプレイランド(新宮市熊野川町小口自然の家)



「歴史」と「文化」が香るまち

門前町、また城下町として発展し、材木業が栄え経済の中心地でもあった新宮市。歴史と文化が醸成され、今もその名残りがそこかしこに見られます。佐藤春夫や西村伊作、大石誠之助、東くめ、中上健次をはじめ多くの文化人を生み、育んできました。新宮市街地に点在する歴史と文化をめぐる旅。徒歩や自転車でも気軽にまわることができます。

新宮(丹鶴)城跡

熊野川沿いの高台に見事な石垣を有する新宮城跡地。鎌倉時代初期に源為義の娘・丹鶴姫の寺があったことから「丹鶴城」、また太平洋を一望にできることから「沖見城」とも呼ばれていました。1601(慶長6)年に浅野忠吉が築城を始め、1619(元和5)年以降は初代紀州藩主・徳川頼宣の付家老・水野家が10代にわたって治めました。天守閣は現存していませんが、技術の粋を集めた石垣や港のある水ノ手郭などが見どころです。春にはサクラが咲き誇り、提灯でライトアップ。2003(平成15)年国史跡指定、2017(平成29)年に「続日本100名城」選定。

新宮市丹鶴3-7688-2 [MAP.I-4](#)



1 熊野川沿いの水ノ手郭では、舟入りと共に炭納屋が見つかっています 2 壁面強化や敵兵射撃のため、出角を屏風折りで幾重にも重ねた「横矢掛(よこやがけ)」の石垣。ほか、算木積み、切り込み接(は)ぎなど多彩な技巧を駆使した石垣が見られます



水野家墓所

Mizuno Family Gravesite

新宮城主・水野家歴代の墓所が、新宮市橋本にあります。城主や夫人ら16基の墓碑が並ぶ墓所は小高い丘にあり、交通量の多い交差点の近くながらここだけ隔絶されたような静かな雰囲気。国史跡に指定されています。

新宮市橋本1-1-24 [MAP.K-3](#)



徐福公園

Jofuku Park

秦の始皇帝の命で不老不死の霊薬を求めて渡来したと言われる徐福。新宮市には「徐福の墓」があります。その墓所周辺は中国風の楼門で彩られています。売店では徐福にちなんだお土産品も販売。霊薬とされる天台烏薬(テンダイウヤク)も植えられています。

☎0735-21-7672 新宮市徐福1-4-24 [MAP.I-4](#)

天台烏薬



旧西村家住宅(西村伊作記念館)

Former Nishimura Residence

大正・昭和期に日本人の生活スタイル改善を目指し、文化学院の創設者でもある西村伊作が設計した自宅。油絵や陶器など伊作の作品も飾られ、当時のモダンな雰囲気は今に伝えています。伊作が住んでいた当時、多くの文化人がここを訪れました。国指定重要文化財。

☎0735-22-6570 新宮市丹鶴1-2-14 [MAP.I-4](#)

国指定文化財



旧チャップマン邸

Former Chapman House

旧西村家住宅の向かいに建つ、同じく西村伊作が設計した住宅です。アメリカ人宣教師のチャップマン氏とその家族が昭和初期に住んでいました。ワーケーションやイベント、会議など貸しスペースとしても利用できます。

☎0735-23-2311 新宮市丹鶴1-3-2 [MAP.I-4](#)

国登録文化財



佐藤春夫記念館

Sato Haruo Memorial Museum

故郷・新宮を愛した望郷詩人・作家の佐藤春夫の文学館。東京都文京区にあった自宅を移設したものです。現在休館中、2026(令和8)年度に再開館予定。

[MAP.I-4](#)



歴史民俗資料館

History & Folklore Museum

蓬萊山から出土した多数の御正体(みしょうたい)／大威徳明王像懸仏(かけぼとけ)など歴史資料と林業関係等の民俗資料を保管・展示しています。

☎0735-21-5137 新宮市阿須賀1-2-28

[MAP.I-4](#)

川原家横丁

Kawaraya Yokocho Store Alley

江戸～昭和期に熊野川河川敷にあった「川原家」を再現し、お土産などを販売しています。川の増水時には簡単にたためる造りとなっており、当時の最盛期には数百軒もの店舗が林立したそうです。

☎0735-23-3333(新宮市役所商観光課) 新宮市船町1-2-1 [MAP.H-3](#)

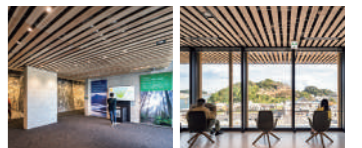


新宮市文化複合施設「丹鶴ホール」

Shingu City Culture Center「Tankaku Hall」

2021(令和3)年に開館。文化ホール、熊野学に関する映像・展示、図書館、新宮市出身の芥川賞作家・中上健次のコーナーなど、ひとつの建物に文化がぎゅっと詰まっています。敷地内では平安末～室町期の港湾に関する新宮下本町遺跡が見つかり、国史跡に指定されています。

☎0735-29-7223 新宮市下本町2-2-1 [MAP.H-3](#)

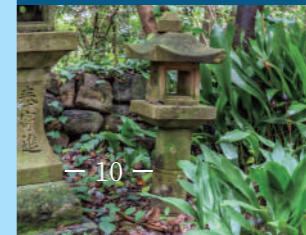


日本遺産 鯨とともに生きる

新宮市を含む周辺4市町で捕鯨文化を伝える一連のストーリーが、2016(平成28)年に日本遺産「鯨とともに生きる」として登録されました。新宮市では三輪崎八幡神社の大祭などで披露される「三輪崎の鯨踊り」をはじめ、熊野古道・高野坂(P.3)や孔島・鈴島(P.6)、三輪崎八幡神社に構成文化財があります。



孔島 岐島神社の石造物



羽指中建立の石祠



鯨山見跡からの展望



三輪崎八幡神社の石灯笼

